「日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議」アンケート（令和元年度）

本会議では、はじめに文部科学省担当者から「留学生政策」などに関してお話ししていただく予定です。その後、日研生を取り巻く問題について、参加者の間で意見交換をはかり、情報を共有できるようにしたいと考えております。

昨年度と同様に、参加大学から事例報告を行っていただきたいと考えております。

つきましては、各大学での実践例の報告にご協力くださいますようお願いいたします。

全体で2テーマ、各テーマ3大学として、合計6大学から事例紹介をしていただければと思っております。パワーポイント（あるいは紹介ビデオ）などによる事例紹介を1大学につき12分程度として、ご報告ごとに質疑応答の時間を設けたいと思っております。

昨年度の参加者アンケートには、下記のようなご提案・ご要望がありました。ご報告テーマの参考例としてご覧ください。

・日研生の学習のための環境づくりについて

・専門科目（論文指導）担当教員と日本語教育教員との連携について

・日研生の学内での所属や学部指導教員の受け入れの動機や目的について

・日本人学生との共修について（方法、長所・短所など）

・論文・レポートのテーマの決め方と指導方法、評価方法について

・日研生送り先大学の日本語・日本文化教育の現状について

・他大学・地域・企業等との連携について

・ネットワークづくりについて（SNSの活用、修了後のネットワーク体制など）

・修了生のフォローアップについて（フォロー体制、進路や留学後の社会貢献活動など）

なお、時間の制約上、事例報告を「行う」とご回答いただいた大学のすべてにご発表いただくことができない場合もございますので何卒ご了承ください。（ご紹介できなかったものにつきましても、文部科学省には、本アンケートの回答をお伝えいたします。）

大学名：

記入者所属・氏名：

・事例報告について　（　行う　・　行わない　）←　○をおつけください

・事例報告のテーマ　（　　　　　　　　　　　）←　上記の例以外でも結構です

◎回答は８月３１日（土）までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp宛、メールタイトル「日研生会議（大学名）」としてください）、またはFAX（072-730-5074）でお送りください。

◎「行う」とご回答くださった大学には、調整などのため、あらためてご連絡させていただきます。

◎ご発表くださる場合には、A4サイズ1枚程度のハンドアウトをご準備ください。

◎会議の活性化のため、事例報告にご協力くださいますようお願いいたします。